



華やかな仮装パレード

9月1日(金)、志津川高校の生徒の皆さんによるクラス対抗仮装パレードが、翌日開催する志津川高校文化祭「旭ヶ浦祭」の宣伝を兼ねて、商店街など市街地で行われました。

パレードは、吹奏楽隊を先頭に総勢で約100人。生徒の皆さんは、ゲームやアニメのキャラクター、お笑い芸人、今年行われたサッカーワールドカップの出場国の選手などにふんした、ユーモアいっぱいの仮装やパフォーマンスで、沿道の皆さんを楽しませていました。

最新型の小型動力ポンプ付積載車を配備

町では、小型動力ポンプ付積載車を1台購入し、志津川消防団第8分団・中の町班に配備しました。

同班の車両が購入後33年使用し、老朽化が進んでいることから更新したものです。

価格は約510万円、6人乗りトラック型の積載車です。

積載ポンプは、手入れが容易で耐久性に優れたオイルレス真空ポンプで、スイッチ1つで給水を開始するなど、自動給水・自動停止機能を持つ46馬力の最新型自動ポンプです。

起動力に優れていることから、火災現場での、より迅速な消火活動が期待されます。



起動力に優れた小型動力ポンプを積載する車両

「南三陸町ブランド塾」がスタート!



観光客を巻き込む発想で、ブランド化を目指そう!

9月8日(金)、役場大会議室を会場に、南三陸町の町内の生産者、商工業者などが、町の特産品や観光資源など、ブランド化に向け意見やアイデアを出し合い、具体的な実践を図る「南三陸町ブランド塾」の開塾式が行われました。

開塾式では、町長が依頼し塾長を務める、地域づくり・観光まちづくりなどに関する専門家で、(株)東北地域環境研究室代表の志賀秀一氏が、ブランド化について講演があり、志賀塾長は「他との違いを明確にするのがブランド化で、地域の良さを伝えることが大切。観光客の要求ばかりにとらわれず、観光客を巻き込む発想で、資源を活かした、地域住民の多くが良いと語れる究極のブランド化を目指そう。」と話しました。

塾生は、塾長が選出した農林水産業、商工観光業12人で、任期は3年間です。講演後の意見交換では、塾生から活発な意見が出されました。

今後、ブランド塾は随時開催され、各業種の知識を基に、目標を設定した商品の開発や戦略的計画を構築し、この中で、すぐに行動できるものは実践する予定です。